

第五十回句会 俳句

【高点句】

☆小春日や古本市の列延びる 〈安津子〉

☆冬構早目早目と急ぐ齡 〈眞澄〉

☆小春日や保母と連なる赤帽子 〈眞澄〉

【各自一句】

・碧潭に日の射し小春日和かな 〈明美〉

・小春日と言へど琥珀の虫は動かず 〈莫院〉

・葉牡丹や小さき駅のロータリー 〈一馬〉

・気に入りのブローチはずし赤い羽根 〈郁代〉

・彼は去り名残惜しきや冬紅葉 〈撫子〉

・老いの背のまるくふくらむ小春かな 〈千恵〉

・月冴えて孤高に浮かぶ天守閣 〈緑〉

・昼下がり海辺のカフェの小春かな 〈童心〉

・小春日やオープンテラスより埋まる 〈安津子〉

・いつまでも開かぬ踏切暮早し 〈眞澄〉

・小春日の水面を淡く描こうか 〈雄記〉

・遊覧船妻と小春の白ワイン 〈茂〉

・紅葉散り湯の花舞って山の宿 〈伸子〉

・小春かな恩師を囲む十一人 〈青蛙〉

*以上、39句（3句ずつ13名）より、選句は14名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句（今回は第2位が同点で2句）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載）＋今回は掲載句として1句追加